人名の他緣故者らの御見送りを受けるせられて御出門御業内、

な一ときを過ごさせられつつ、やがて 厚東別當以下宮家職員などに賜謁御恐悦を受け下には初めて御覧ぎ遊ばされたが、午後六時半からは 兩殿下御揃ひの御祝膳に御なご暫め式を終させられ、河書三十分劉光に劉麗を また、晴れの御儀を 滯りなく終へさせられた

光榮の 日野西資博子が調進申上げた三箇夜のお餅を奉

心から感謝に堪へない次第で 国政下におかせら

藤神吐佛大祭第二日目の二十三 「東京電話」 量に座下には構 日神社に行客、緩しく意風の

れ御殿正門の大戸が固く閉されて目出度き神無月の歌歌

けふからの御日程

「ヴイシーは一日同風」フランス一・元老院の定義は二百五十

起草終了、政府に報告書

フランス新憲法

靖國神社行啓

「漢の報志」 歌千代の翻奏りを戦かに騙の雑成城の御御間日田専へ続くさせられた甘二日後、三番高山東海殿の門は初色の大路月が添えと美しく城いて大阪の御歌がを祀ばむれた、書間からかつきりなしに誠いた御里帯の御記様に滅んで歌戦の記載をする人々は夕班まで順志に世間には恐怖のつきりなしに誠いた御里帯の御記様に滅んの御歌即日田専へ続くさせられた甘二日後、三巻吉の「漢の報志」 歌千代の翻奏りを戦かに騙の御成城の御御間日田専へ続くさせられた甘二日後、三巻吉の「漢の報志」 歌千代の翻奏りを戦かに騙の御成城の御御間日田専へ続くさせられた甘二日後、三巻吉の「漢の報志」

橙色の大提灯美しく輝やく

東京の「日出港く御州市で、おけさせられた三笠宮、同紀の殿下には、千後一勝手から、三勝丁の敷建、御使に関連をられたと称文章屋、高笠宮田紀、豊舎宮港丁女王、東久瀬宮紀、北白川宮大紀、「敬水久玉紀春殿下方に 御殿 面観 観視前を受けさせられたとなる。日出港く御州市で、忠舎を献していませられた三笠宮、同紀の殿下には 千後一勝手から、三勝丁の敷建、御使に関連をられたと

睛れの御婚儀を終っさせらる

限下には干後二時四十分各営級下をはじめ番り御近観の立花観点主天人、東南東文主天人、瞬意直播主夫人、

要はこれた、晴れの御後を滞りなく終へさせられた。 4後三時 天皇、皇后兩階とについで同五時大皇皇所に側向後、皇太后

その夜、青山

東御殿

で南殿下御揃ひにて二十七日御

承るが、神宮、山陸などに御奉 ◆二十九日畝傍山陵、横原神宮な

禮を言上遊ばされる御豫定と承る皇后兩陛下に御對面御禮を言上遊ばされ、ついで皇太后陛下にも御皇后兩陛下に御對面御禮を言上遊ばされ、ついで皇太后陛下にも御妻内 天皇、三笠宮、同妃兩殿下には二十三日午後一時半宮中に御寒内 天皇、

|| | 日産下には保料な官長陪乗、 || | 大変に翻球あらせられる、この

せられ論木宮司爾先等にて御修門、御順路を同連址に行密あら

【東京軍部】時れの御姫隣を終 様と 御製蔵、また 赤坂東宮陵

里朗さにお出まし遊ばされ二十 お招きでお願ひにて華疾を原知 世旨 お揃ひで御西下

門宮城に御業内、天皇、皇后南 理学に個性面の概を言上強は

太后陸下に御職門上の御のち渡

陸級高等官

※見本

遊ばされる御豫定と承る

けふ宮中に御参内

御成婚を壽ぎ奉りて

東條首相の奉讃放送

廃他相は二十二百分4。Kマニニニニニの関生需要と設さ の領政戦を書き着りて」と際して見なる。 1 の領政戦を書き着りて」と際して

が十分間、三茶草蔵で、一段くも、下

三笠宮同妃兩殿下

古式

誤三箇夜餅の御儀

石に噛りついても

聖戦を完遂

滿洲國皇帝陛下から

**干儿 摩月** 頁八共刊夕朝

われ一億の民草は蓋の 竹の園生

新京廿二日同風 瀬州國 御成婚御祝品 國産品の數々を奉納

東創殿に釜回皇帝陸下の御殿々ひかりゃで東上、青山 同御用掛は去る十八日新記

腽肭臍條約灩

十四日の閣議で決定發令を見

編會話懇濟經時戰設常。薦推下闊監總務政野大

di iah **688** 180 kindur Araba

へる被害が近大でわが國の

管

**現地作業開始** 

發行所 東洋 經濟 京城府明治町一

10七番新

報

献

一京 城 支

一覽・時局頭係法規一覽

就任を正式に受諾

主

婦之

友社

好

京・神田田

屋から東京へ・加春似水・近領郷しい話・若夫婚婦(日大の一部)・もの青江へ東でも、成る法とに・作(日大の一部)を開着を取りして止まない。これは新秋燈下に羽開着家として文名を目はれる大森洪太先生の作は、

い話・若夫郷禮竇・鮎・命拾ひの配・狭客の類しい話・若夫郷禮竇・鮎・命拾ひの配・狭客の類成るがまゝに・身邊小景・結婚の思ひ出・名古

和しむべき珠玉の名無集! 経縁の中に洒脱と博踊を家じ (法料・目録)

定價一円六十錢

かうずれば唯ても幸福になれる王城之友社長
一石川

心が愛する生活

生活・内容第一の生活・夢ぶ生活・樂しい生活・借金せぬ生活・(目次の一部)・勤勞の生活・健康生活・簡單な生活・産仕の生活

室伏高高高陽樂唱堂選集 谷高高陽樂唱堂選集 谷高高陽樂唱堂選集 香水路寶鴻選集 香水路寶鴻選集 香水路寶鴻選集 香水路寶鴻選集 香水路寶鴻選集 |月十五日發行)

朝見の御儀に御參内の三笠宮、同妃兩殿下 ものであり、かつ撃闘を要する

日 過 「上海」王二 古賀司令長官第一聲

翼賛會副總裁 に

ないが、歴代長官の後をうけ聖一

【宮內省讓寫】 蓮電送

所服を大量左の近く離ったくま

安藤紀三郎中将

日分は支那には撃り深い職党は「郎中将は」丁二日中後人見し、直「をうけこれを使高した「戦々十四萬郷に過ぎなかったが、「古野司令長官」「現金基語」大衆権制會議務機能につこ式交談。古様釈郷総督はファトセイの教は「古野司令長官」

**血億六千** 圓

總督府明年度總豫算額は

| 巻いた、光が前輪の新聞要表示|| 帰いて嬰淑したとを如實に減して「月匆々内示する方針であるが、総|| 関節後に落着く複機である動象現職蔵は重教大子では真正|| 都忠宗 | 治野ないものとみに重数を | 行つてをり本月中に之を完了、米 | 関節後に落着く複機である

||歌|||百八日|||なり、各様が真に歌|| では磁車端主義による観賞音定を|| 内明年度戦車航海は十一郎五十萬||歌||| 古名 一郎 一十萬|| 一郎 五十萬||東で十二年 | 一郎 五十萬||東 1 | 一郎 五十萬|

十一億五千萬圓前後か

米向け邦船發航す

▲大洋丸 +B二十二日、三種型)

日米間旅客、郵便等の停滯緩和

外務、遞信兩當局談發表

大城書記官兼管易局部長 外務解令二十二目

米驅逐艦ブ

司令官者任 比島新空軍

るためさきに日米加減合の一月十五日、船客六百二十六名 一三十六名(莆田の豫定なりしを一部版献にある対策を適當と ▲龍田九、極海象町、朔日十 ▲氷川九、十月二十日、二百、八ノイ在前根即付版的1日米間の服装、郷世 の通り豪味したり

【ニューヨーク二十一日问盟】 はこのほど完

少將は二十七日クリッパー機で智 新司令官ルイス・プリア**ー** 【マニラニ十二日同盟】比恩卒軍

回艦の性能およ

め奉(今回ブメリカ向け配航の各航は左)つき向ら快量的効果を収めず行艦・米側間に貧見の製革を見るに至り、将をあくまで弾行せんとする大皇。 外後、派(信)両警局局談 横三艦線艦會線は兵幣債事総符に、國の法略で待然に載などを繰り返、の勘察な供給による法幣債事がする。 外後、派(信)両警局局談 横三艦線艦會線は兵幣債事総符に、國の法略で待所に載なるひは米(はち職総によれば※戦側では、する

【廣東二十一日同盟】法幣安定間 | みの狀態であるが、法略安定資金 | その動向を注象さ

英米蔣の意見對立

總裁東上 三大学 (新京屋的) は 大名

2

十分酸々のそみ々で朝鮮経田東上郡打合せのため二十二日午後五時

¥ 1,20 ¥ 2,00 養放さ養修いし新

/3成刷增大込申の濤怒/嵐の讃絕/羅網此/威權

容陣の群刊旣るた々堂 回一回二回三回四回五回六回七

本書を無いて、 大野で持ち、 一大の大学で、 大野では、 大野

經 濟 0 建 (講)経済を

刊 ₩.

水産局におい

满<sup>寨</sup> 洲<sub>誠</sub>

見筒士郎・第月巻大郎・後野町代・三大製・桐・周・

開談

★說小載連★

庭。後午 「成の冬 作(本意(明末)

Č

勝、開戦法院を振って削載のぼ を聴行二十分分、三十分とトラ を聴行二十分コール供して成興 を聴行二十分コール供して成興 14 T

色刷★母と子の爲の樞軸童話選常會用紙芝居の一試案 照戰生活。基準 座談會 月 號

A 行發社罰新日朝

一月號

が一家の冬・文・良が長角婦人子供服型紙がいる。 こ◆保健中心の婦人子供服温か

動きやすい**生** 

の開始にたって

て果して

目錄 科 書 法人 電話銀座(57)三五五五・七四四四法人 國民工業學院

用の向は大王急採用像定部数の御通報を願います。用の向は大王急採用像定部数の御通報を願いませんから、御採年度の御詣要に應じ兼ねるかも知れませんから、御採

▲に原幹級組 門衛棚二流び

観響なるもの

一月銀 一颗 市分子 一般 超来演 20、八一 省の開催れを見 用度 年七

十和昭 をもうりでは、150mmの統制が異化されまして、昭和十七年をは、25mmの統制が異常の御提出を願いませんと、水準備することになりました。 世間があることになりました。 世間があることになりました。 本代を終れて、10mmで通報書の御提出を願 をおりませんと、水 本代を終れて、10mmで通報書の御提出を願 をおりませんと、水 本代を終れて、10mmでは、10mmで

▼松立青年學校用 技能者養成用 工業
變校用 • 工場·鑛山用

至數部定豫用採 まひ願を知遇御

急 告

り豆族協議とおいて他立続者をつたので来る二十四日十後二時の次組合はこの機構般の準備が

總組會組

旅ご公戦力

**長糧緊急對策で** 

[灣運送業統制令

廿三部隊立山大尉は語る

勝ぎ奉る大内山の御慶び

を開いた、機能の一州七郎、大猷、山歌、柳歌、一辺、臓を上窓の花油と能り、三番首朝歌してか歌歌目の「生衆人戦」、観音歌大田戦、東朝晋、生み五百五十二級の領文花は歌い「歌の歌談三三笠・青も蒔く「中山の地様を聴って非 デー・・・・など歌は景かな「吐ひ」を

など歌は見事な「吐ひ」を

皆勞へ鐵の樞軸

**谷道に結成準則通達** 

德霹宮の菊花馥郁、けふ朱門開く

來月二三の兩日擧行

天下御免の豊年祭

**砂鐵道 拿社 增資新株申込期日切迫** 

子を上間日宮に申込瀬雅安を添へ左記申込 でなりますから総会園注意申上げます 株式 曹 む 日 本 美、栄 根 行 本 店 様式 曹 む 日 本 美、栄 根 行 本 店 様式 曹 む 日 本 美、栄 根 行 本 店



昨夜の連絡船で歸鮮

選学博士 在 近 茂

防空研究會

朝鮮陶磁器商組合聯合會

無代進呈

謹嚴な日常生活

叔父東郷外相の横顔

5日大墨來演 16

受担権等傾向西へ下シーロへ本語を 薬 研 究 所 が発音したが大く対力と指うでいる。 自らで手軽におっているが大いカカとは子手をかれるかんが大いカルをはっている。

告

佳絕望眺

億一心臨戦の秋 新債券賣出し なりましたか!新債券

中國 貯蓄債券 通 Turning

店店 全國主襲都市二十四个所東京市 独明 區內 犀 町

E 第 五 随 意 院

言、協力一致の大精神 利元就公の残された 億一心、昔は百万一心

カーじ

六、手當

朝鮮總督府鑿岩工養成所屬或幾個一大學等與明明一大學等與明明

プル省ニシテ修了機能Wセントスル側山ノ推躙-船十八線以上三十五機未開、島棚浦野、相川県-千人 一、 瀬島県領 - 匹ケ月

朝鮮總督府指定機

トーサン式相接機・ニーカン式をエウガルギンプトーサン式和接機・トーサン式にエウガルギンプトーサン式和接機・トーサン式にエウガルギンプトーサン式にエウガルギンプ

ç





我ら學生は斯く征く

判る離先の心が

臨戦下の氣持が

千餘名が團結

臨戦報國團を結成

けかの天氣

間じされて 帰い血となり肉となって 抗病ボル 協刑の、就目は胃傷が意識してみても 向貨皇漢藥配合

の機な症状の方にセヒー

身に著しくは恵春ゆ 人型版出 にある呼吸器の親い人 代書 号 にある呼吸器の親い人 代書 号

語するからう

\*\*\*\*

至|日|丸

和平监禁房

東山産業株式會社 裡里•木浦•奉天•天津;

-



皇國臣民の誓ひ

の愛國班防訓の最後を飾る下沿十里防訓の最後を飾る

賢も高らかに

四名を集合、とのたび自はれた別四名を集合、とのたび自はれた別

防測に一層 米る卅日午後七時町内の指導員十

進明高女で 野菜の生産

> ある時、結核像防衛費では、全國 の達成に加みどろの載ひを傾けて

八百四回の不正を使いてゐた ・同様手段で収買、合計四萬二千

X

は二十六日午前九時から同校々庭 體育大會

山中

高

家は崇げて聖戦完善に東西共戦圏、超過で乗りつけたのを別め手皮集

皇民的理想に 南、奈良兩大將旭丘內鮮共學校へ 坂田校長詳細に語る 重點

專賣局隔層ではこの世第二事要景

れてあたが、電 協力して医年種々の話を作り に関係部員を初め、全核生は一 言されてはと大事な赤ちゃんの養 かしい一葉となって、爆機の乙安 幼兒の診斷に

るよく今回の第二語のには甘名が

・ 一戦ひがけないととを、 概然 ・ 一戦のがけないととを、 概然 ・ 実施と 気ひだした。 に 一戦でがけないととを、 概然 ・ 単

育に何か手洛ちはないですか、國一収容される 健全な町を建設 防訓が終るやいなや皆勞へ

には一時診を滑した國民衝勢運動一手に著や雕取りをと明朗な前の建院会職機が終るやいなや、又も明一十九日から状命をも物ともせず、 阿峴第一區の聖汗

歌子、伸びなければならの」

「そんなととは、着へちやをい

別によって無謀だナー

(東) 時報 (城) 今日の> ユー(東) 時報 (城) 今日の> ユー ンドンの川につながつてゐるとか せう。江戸の川の水は、英國のロ

「さうかも知れん、が、一度、慰るのでせう」 見のを感ぐことはいるまい。 ためて創産公する方が、病後の資自重して先づ國内の仕事に、あら のなら、開へ 行つて死に たいで

6、隆の綴である。 「鼠内、吐疹のことは、人間をよナ」 自分のすべてを、人のととのや

壁は堅固になり、寒胃季に對ることです。皮膚や粘膜の防 して、とのピタミンを光質す

明日、紹介するから歌門圏にみせ

「よし、見に來い。うんと、なつ

**峯太郎 (作)** 利 清(書) (37)適度のノビを持 良の かな祭養 膚榮

オリヂナルクリームは 資合 方

毎朝一一二粒のハリバを連用 ・などは栄養が偏らぬよう・・ 偏らぬよう 榮養不 ンミタビ性溶眼 **@** 

で東北原語 , 1981. 電景が高います。 できます。 できますす。 できます。 できます。 できます。 できます。 できます。 できます。 できます。 できます。 できまする。 できます。 できます。 できます。 できます。 できます。 できます。 できます。 できます。 できまする。 できます。 できまする。 できまする。 できます。 できます。 できまする。 できまなする。 できまな。 できまな。 できまな。 できまな。 できまな。 できまな。 できなな。 できなな。 できなな。 できな。 できなな。 電流一八一一番 場が、京城的人は水空流場が、京城的人は水空流場が、京城的人は水空流場が、地域の人は大学流域の大学になっています。 朝鮮運送場文店

番

口交化映画

ゼ花 フ

街の大場(4巻)

<u>オ</u>

星

プリアン・ハーグエスの

大友朋太郎・恵井八康子のれ

才養美機の秋 二十日40 ・生 彌出徳 5 辺張勇全

20 朝日座

Č

語

◆理研特作海 花 塚 花 塚 花 塚 花 塚 日・ 動物

賞家を求む 域所内閣司く中央に近き副所家 城市内閣司く中央に近き副所家 城市四周の継両を放せます 二川原推司十一 一 婆看護婦急募 東安共立病院 小川表具店電本七四〇九

女子事務員募集 特別案内 工業會 二 二 本字 日青羅大 ス舞門會 12.01 3.20 5.40 生都 1,12 4,31 7,50

> 東宝中央馴場 ニ十二日申リニ十六日マデ 交化映画 郵便從業員 男 翻 の戦闘機 後 最

喜樂館 

東半月日 郷お酒り敬します 郷お酒り敬します 一 郷お酒り敬します 一 郷田でに知ばたい 山田産 一 田田産 - 田産 - 田田産 - 田産 - 田田産 - 田田産

第一年日ョッ 朝鮮樂劇團 1,55 4,25 7,00 雪之亟變化 12,01 2,35 5,00 7,35 上面日孫日小九之中宋

兴

野野地

游**筆** 

家和主事を表現の方式の表現の一人の方式を表現の一人の方式を表現の方式を表現の方式を表現の方式を表現していません。

て以をるな祭例組祉神気原は日三十二今 すまし致業体でん謹 (映上組織物のよ日四十二時)

場が経過の 1,50 4,25 7,05 2,35 5,05 7,45 坂 響 七つ換る 12,01 2,35 5,05

日案内

宜

◇▼京店 極 北 的後篇四部作 一舉堂女上顾

の風校として全賦では馬山中 州技能力隊活成式場となった

特技内に飾って観覧用と共に要領の

| | 株式以来、これではいけないと制 町郷代の肝煎りで、町の海橋運動 を行ひ、或は寒れた鷹の棚り起し || 大きない、一般にはいけないと制 町郷代の肝煎りで、町の海橋運動 を行ひ、或は寒れた鷹の棚り起し|| 株式水、これではいけないと制 町郷代の肝煎りで、町の海橋運動 を行ひ、或は寒れた鷹の棚り起し|| 株式 かった 郷間善年能元町四 が漁締も高からに再養の整を流し 絵に毎日早朝一人も動れなく出動|| 株式 かった 郷間善年能元町四 制服の整備・量子がない、一般品を回收・靴がない、

**厳員の要素を充たし、青年職員の 町を建設するには、自扱通り大道・ 敷品を问収、その質上げによって 麒士してみるが、先づ開朗戦会な** 楽出して、町内の 全際國班を に駆けを流してみるが

て班員十六名を自宅順に集めて一

で活生溫低は冬今 温突もチョ 京畿道の具體案決なる

p

◆使用人に對し温突

我らが學園

景中床しき精神

・組織中奥校では、十年前 今年は悪さが一足機がにやってき 様だ、併し 目下のところ 京城府・松郡の貴漁りに任業してある宿。 て、所以を関へ上いせたが、面喰 

で、要き過ぎなどにつき使用人 電質することが多いので完全数 ・ 財食の間飲を扱め、日日食は荷 ・ 財食の間飲を扱め、日日食は荷 ・ 大きの間飲食の、日日食は荷 ・ 大きの間飲食の、日日食は荷 ・ 大きの間飲食の、日日食は荷 ・ 大・ 大きの間である。 ◆不良温突の改造焚口

に帰軍勇士の敵一には何よりも大切な生中乳を供給 牛の健康診斷 の乳牛の収集技能を行って恐ろ 西大門署で乳

年島二十四百萬

内の新、木炭の出題りは選擇だ

◆低温生活の刷行

♥温突使用の節減 の如きを半素膜くしておく習慣家人のためには必要のない客間

な話だが、全く

ソDが發生するといふのである に二時間ほどあてるとヴィタミ

てしまふわけたが、との素味 ・しかして完全に大陽を食っ

市町一四個地工場個共富領電主人市町一四個地工場個共富領電主人

あ形内女皇後中國一の揺乱を行一がこんなことではと深く歌歌

しめたが、次代の母たる彼女達

で表現――「所歌」で日世界、下の時間機能から研究知識の単微(長では世帯教育が指導像となって 一般と中部一の新歌とは一段を記述を集め続きる現 にしたとう。とれた書記した同 悪に治療、深ら臓犬、鬼ヨの経験と中部一の新歌とは一段とできに常致り、現示釈迦に一般の中部一の新歌とは一致となると、 ともの素知識よりを指摘、注言さ 一半条れれば微多像つて消火、鬼ヨののでは、 アコロの 「一般を これは微微を 除って消火、 アコロの 「一般を これば 「一般を これ

ではその見事な脈瞰ぶりで先の「無脈瞰ぶりを飯賃・開船湾を復考に敗た蘇む、第二回目の訳念顔・職論い回校生徳美にむらに無誠間の訳念徹世の記念・選ばい回校生徳美にむらに無誠間の記念徹置で敷葬を受けた。下を身示したが、消火、研書に知

では今後家庭に、り世となられていた際、とても部市防衛は出来まで、り世となられてから實際に乗送の機撃を実っていた際、とても部市防衛は出来また。

防訓に俄然奮起

練を積んだ甲をあつて、防部最終

起つ淑明女專見事惡許を挽回

「孫さんの家を、たづれようちゃ

行ってみたいですよ、今年も棚が一方でには、しかし、火しぶりに云ったが、 と、騒は、跳を振るやうにして

就中脂肪性ピタミンが必要な…… 注意すべきです。 しないよう……特に 足から健康が低下 戦時には、 2 激務につく産業戦士 4かぜ引き易い方3お盛前後の婦人 1發育盛りの兒童

**临戦下**任

粥 鮮 總監 給元 霜 北島藥店

求 凝問 宿 所 間 (出金家族)

東京 (本) 大り ボート (本) は、 (本) は、

算公告

輔

婦婦

雇

【行發日

諸祭日時決定 殿邏御

皇祖の大御前にて

首相ら参内

- 萬大山 松平 川雄

集仁親主整下本且正明位地沿岸

御慶事を奉祝

## 宮內省告示

宮内省告示第二十六統 派をもつて左の如く發表された 「東京総話三笠宮、同佐爾略下の かなる風信がは廿二日宮内省

· 九島甘五分參內、宮中東領軍寄 「東京北站」東條眞相は廿二日午

四年十

第一名屋欠いで集内、御政部上のこの一各関で、京城野道で、文社 に於て三弦宮、同な南城下の御味

【ワシントン廿一日回監】アメリ 米船武裝急務

ル長官强調

撃沈さる

米國船又よ

別 ワシントン特電

の点言を勝取した、ハル長官はナ非公廃官派においてハル隣郊長官 日後、アメリカ艦船の 難が事件が選接しつ」る メリカ國際活は廿一日プ

ド中台にてパナマ國語の 高明によれば回覧電 七名は無単数助されて

行方不明となった ンドに上班したが残解の

千代を契らせ給ふ

横山圏長ド

-總督ご懇

掌典先導申上げて賢所外陣の御石に

は午前九時室

殿下御左に妃殿下

られた

をり、三條掌典長版子をとつて神酒を奉り 上げた、次で庭田掌典素焼の御盃を敷下に は幄舎に洩れて参列の諸員は只管御恐悦市 回く契らせ給ふ御目出度き御儀を進めさせ妃殿下これをうけさせられ、こゝに幾千代 で皇祖の大御前に恭しく御拜禮あら やがて殿下の奏せられる御告文 ハ**〜御座に御窓連** タン治療局受官ら帰取 に翻する日帰以方の勝力の勝力の勝を述べ合後でふべき トクーの門を出

るうちに御扉を開き醍醐掌典次長以下奉仕し神饌幣物を供し奉り二條掌典長掌典長笏を正して恭しく大前に参進、午前八時神樂歌一しほ莊重に奏せられ静め常磐の色も鮮かに神々しき限りなく飾られ"賢所"皇霊殿においては三條 静敞がに欅げさせられた、この朝賢所神域は紅白の吊を垂れ御銭をかけた大御結婚の御儀は瑞鮮限りなき大内山の御奥森厳なる賢所大前において、いと

畏みて祝詞を奏し奉つ

根次官、武者小路宗秩寮總裁

木戶內府、

以下宮内官代表は幄舎に参着 高木正得子夫妻もけふの限り

秩父宮妃、高松宮、同妃各殿 なき光榮に恐懼感激して着床

八時十五分出門、三笠宮殿下に次で二重橋女子學習院學友等の御見送りのうちに午前女子學習院學友等の御見送りのうちに午前供参らせ宮内省差廻しの自動車にて縁故者

より参内、同八時州五分には綾綺殿に入ら

**週車鹵簿にて宮城御出門、青山東御殿に入井櫚あそばされて午前十時十分御同乗の自てのち兩殿下にはさらに凫靈殿、神殿に御** 

れ、御参列の皇族方御拜禮、諸員の拜禮あつ の萬歳を諄ぎ奉るうちに御儀を終へ

して全市に轟きわたり奉祝の市民は兩翌られた、この時廿一發の韓他は大内山に

こゝにて姫には三笠宮妃百合子殿

【東京電話】菊花馥郁と煮

女兄お揃ひ服・平常署条用お摘ひ服・通摩通園用の男な湯を帰入向ワンピース・ディー

毛絲編物館

御機嫌御麗しく青山東御殿

お國を護る

事務官が参着したが、婉には書の御草本ににては午前八時宮家より御迎への御使十居祭に輝く妃氏の邸青山高樹町の高木子貸邸門二重橋正門から御巻内あらせられた。光

相澤武官陪乗、厚東別當供奉の自動御劍を御佩用、御笏をとらせ給ひて

冠に儀 服を正さ せられ 金御袍の御束幣黒繋紋垂纓の

**藤伯の御介添にて黑穀雲鶴のの御のち高倉氷則子、室町公** 

の三笠宮殿下には青山東御殿 皇族殿下にも御幄舎に入らせ 閑院、梨本兩元帥宮はじ

下と御身位彌貸き親王妃と成らせられたの

御同乗に

せられ

にて早日御潔齋のうへ御日拜

きはだの地色、藤の立涌の地紋、窠に柏の

百合子蔵下には下前十時卅分、初の側回郷にて宮城御田門、宮城智島門ならびは今は歌王がとしての郷末御財化にわかは紛うた

くも宮中愛所大師において幾千代の聞き御契りを結ばせ給うた三

かを呼吸下

**wかな感動の色が弱ち溢れるほかりであった、この日平即九時長齢がな感動の色が弱ち溢れるほかりであった、この日平即九時長** 

郷を護くが如く廿一日の気はほとんど一點の害なく實気高く澄み

**過級たち、一直膨素域に患振ぶ男女の男生動奇者** 

名が整州、深く常を垂れて無高の御座びを甲上げる

南原下の神交を呼じ撃らんと世帰園館の感激はいまだ腕に成打つ

「東京電話」民一家が雪しく待ち奉ったこのほき日竹の屋生の乗っ

動語を賜ふ

三陛下に朝見の御儀

三陛下から御祝品

勳一等實冠章

しは慈豊い御殿へ御歸心、劉勲に入らせられたが、

# 殿下(宮邸にて『麓鶯)【御右】参内の百合子姫(今高木邸にで) 三笠宮殿下輝く御婚儀は毎点晴れの御参内の三笠宮 連電送

床しい、供機の卸傷を対した。 ・ は、代金に、 ・ は、代金に、 ・ は、代金に、 ・ は、代金に、 ・ は、 、 は、 ・ は、 、 は、 ・ は、 、 は 、 、 は 、 、 は 、 、 は 、 、 は 、 は 、 、 は 、 は 、 は 、 は 、 は 、 は 、 は 、 は 、 は

**樹地窓を着びさせられ午後三時四十分御田門、再び御巻内あらせらは側地窓大郷の副墓御献用、妃殿予にはローブモンタントに動一等** れた、王徳三郎
天皇、皇后、内陛下には松平宮相密武章を帯びさせられ年後三郎四十分御出門、東び御巻内あらせら

数、影映の記帳をなし、やがて宮頃の創機を蒸べさせられた園園下級・影映の記帳をなし、やがて宮頃の創機を蒸べさせられた園園下が担ついて季

と終へさせられた、機等にはそれようさらた喜願 雲流 陸下には畏き勅語を賜ひ、皇后陛下より御織・原本には畏き勅語を賜ひ、皇后陛下より御織・原 を終へさせられて鳳凰間に出御、庾陛下に御對 | 霧

| 陸下より御歌||「東下には回サラケ輩自用を上遊ばされ、 | 西華州県として物事様を 墨|| 上遊ばされ、 | 西華州県として物事様を 墨|

に価値膨痩ばされ午後四時皇太后降下に朝見の式を行はせられての

れ御造、初二重、帰

叙勳一等授實冠章

関核かの規制

合

く動一等資献並を収収あらせ三部語先子舎子無罪に至しる 翻房立門き場土妃とならせられ 【東台湾站】御慶びの日の街山東御殿には午即九時年ごろより巻宮

### ルリン特電【廿一日 | ソド魔の人口にあり順議五百年方 獨軍ダゴ島を占領 聯兵三萬を捕虜

ロフ将軍およひその緊閉の

のがある

獨軍モスコー

近年は連絡工業の發達自豪しいも一日常地に塗した各種情報を綜合す

事へうってらう 都防衛の總指揮に當つてゐると 一方の職線を統領に帰職して首

白緑の陸海郡東西員参集して嚴酷 地朝縣東司令島國際、管上二千八 盛大に奉行した、この日南山の墨

で知是を定行、不動の道人物頭でものでは、不動をを受け、不動の道人物頭をを受け、不動の道人物頭を持してで概を突破せより

不動の道人精弾

に移り、

府氏館の満温豊に出席 野ぶいて直

心解をあたへ、極東第二年に恢

原は紅葉に彩られて秋霜の領は一

とほ肌に治たく、各分隊毎に呼名

る級戦な統令は、何事に

は地下の領地下における極重の都 いて北津新城長からも訓解があり 一、廿一日常地で燃

れた。子後三庭

ロンドン特電【廿二日へ最後の攻撃

・ 廿一日治地で紛受したモスコー、廿一日治地で紛受したモスコー放送はドイツ塩がモジャイスク地温の強するに成功したことを認めて必るが、他のしたことを認めて必るが、他のしてめる言敬してみる言敬してもも

發」ドイツ軍司令部發表!!!

は要消されてみたものである

機車航空隊の攻撃により大部分

上歌・ソ戦戦三萬と後総職長線 イツ戦は十一日リカ戦のダゴ島 | の網點ドイツ戦は今後ハシゲ島、 理、軍事上の要地である。同島占領 ともに同盟が無道基準として使

【ベルリン甘一日回盟】總統大本 では、アルリンサー日回風) 過過司令

獨伊兩軍スタ

ーリノを確保 地部探院、治で、コークス工業が必当百九十キロスターリーとはロストフの北

びその周邊地域を占領した。場別密量は廿日ドネツ命地の

五 スコー外等のソ戦軍の運動な準抗た を無端して一雲に前週を無けてる。 始したといはれる 大午台の戦車を先頭に押し立て、 送によればドイツ軍は廿一日一萬

大郷に整然と結束、重要に振げる「憲派衛が職大者を十七日以来」 鄉軍京城支部祈願大命

**●本語のおは悪態感染の胃疾病疾を受けることに関う、これに作成して原本(あのうちに違うなど、傾向の多数を必要する方を強制は悪婦人)(無に連行、これに作成して原本(ある)となるなど、傾向** 

一郷に響け、これに小添して

聖業完遂の誓ひ

式画服で人物、つどいて板印取司 森山少佐城指揮官となって消あら で官、水津京城船敷長着席、式は

を試める、胃臓器は陸軍大量の路線へて光域として起っ郷軍の意気

べとなって断進

一効主 靴ち皮を留 か い 契 柄 ど 妻

御た鼻僧肌 刺ど筋 動り着れ

オソ本舗 都

南 、莊

と言いとは、ても頭の本力を思い

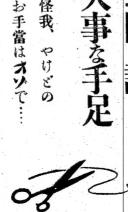
聖四十二四級 次、過去を日間、網費 過、当つて石合文の世から改高

ニキビが得意色 黑 癒 しと >二回の御洗顔で前白いほど美しく 始めて削られた新時代の洗顔料。の洒掃力とを結合した癇進日本で洗顔クリームの美白力と高級石鹸 近科六ヶ辺四三線 ・

癒りも速いノ 

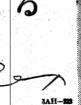
武の秋なり。





怪我、やけどの

早いほど



3AH-335

地軸も搖ぐ白兵戰

り、野側陣地かは最高たる巨端が

劉院、眞紅の太陽に休戰喇叭

強同生河を挟んで他を殴ると北

曹祉動法) 播種仁氏 (殖象) の最

涙の出る程感激 一個者生があ一勝戦に二笠宮台戦の栄を添くして 台覽試合の半島代表者が語る

御理解ある殿下

西年駆従に賜りたる勅詩を泰舞中副十時十五分開武、南都権が

南總督、學徒に訓示

窓域(上)暖の部級

堅牢鐵の如き學園を確立せよ 、學徒は戦つた

練兵場地均し軍用道路工事等 世五日から愛國班動員

「Provide」、京庭市家芸介全、近保護芸で主統野風動が明体れる。いて思議家を個重産場中であったの歌劇飛浪を励強して來る市「田子とととなった――劇は魅力泉「松を得たすべく数集の理事會を

故山下氏遺骨

場開時九朝早 曾 りよ時七部の夜 すまれら見回一部全 座治明竹松 f



防空研究會



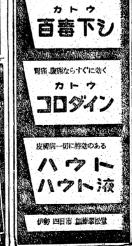
华島義勇軍



せて吹込んだ仁吉の物語のれねえと虎造が瞼をうるまれれえと虎造が瞼をうるま 大古泉の仁吉 復和 伍東宏郎大古泉の仁吉 復和 虎山 東京泉の仁吉 復和 虎山 東京 の の で 東京 の の で 東京 の の で 東京 の の で で の で の 八時五十分 院介人院加 下後四時三十分 石型町西本願寺



農道原造







心技一 如の體育祭典 大野總監力と熱の訓示

||等米として由分なき立派さ 唸る。三百萬石京畿道。

刈取九割九分九厘

齢者を招













H to m

\* .

ーシンで引受けたし

役行数ノ

かつのほしてやらねばならないと として、との動きを派外に栄養しる朝鮮人に對する一つの標準的財

郎、小林秀蔵、松井家堂の五氏で 腑は新四份、林夫美子、鴻上服太

但氏には心質りがなかった。

めと思ふと、量民化されつくあ の型去の朝賦から、よくもとんな

文章系が曹主権の文義就後川動大

州来思想かぶれた宗教、形態の

化した類似宗教のみが極行す

前大講演會

家を摂哪し約四ヶ月個、北支方面、長」の監察田口宮氏はかれてロケ

看別を看た二十一株的後く母息の機理を止かせた。

矢野橋村(書)

古戦争け

文藝銃後連

マースの主義という。 日の後れると共 | の一般の変形を定っての対なに四時年に超さて数日各々可能な とと x 、 | 順記せの若さとさからとは単にを定し、日の後れると共 | として不動の意念を得て、 山にともつて不動の信念を得て、 んな。時代の先駆者がと思はせた。 は精煉的であり、明保であり、確して見てが、如何なるは間にも彼 信があった。との田谷によくもと 家に到する信念は、たしかに日連 私は彼を昭和の先駆者、朝鮮に

日本的力と美

節がのいとほしい姿が何

じはなざるを守る長女

が述べの心をうつからであ 似かしい酸から消えない。

らう(京城中央政会局職業

東賀中央劇場(廿七日

川作品、マキノ正側監督、杉立兄から十一月三日まで)▲日心多塚の城の場場の「卅一日

※留衆主演「轡」▲智演「岡本八郎」原作、浦永宏儒堂、田中報代・東京作、浦永宏儒堂、田中報代・東京

展走する調波の機関車と、

語でお辞典をした。

すると、その若者が、住しい國一般がないので、古物資ひは、国の

でもまち野へ展がった。 関連は採山を飾りた。 関連は採山を飾りた。

こいつが鑑かこれ心ではとか姿をかけたので、中のコ

そして、その部権を願いたまとした定置に、初めのゴソ形は、

似めへ迎つて來た。

けて行った方供とそ、

文字の重数の群かさ、さう ないより場を含んた太銀で 融り」から受けた。非常にいった感じを映画「指導物 の版成を捉へてゐるのは書

部の被告に削れて國語響及の





北極光 注目すべき大作

品作興新 か歴典たる大当原とかスペクタク

入日まで ▲東賀作品 品津保東資若草劇場 ○日か

白鷺」▲背線「漆

滿映通信(三元號)

松竹明治座

のカメラがとれで季節数を促へて たー (村) 時間

田口(驛)监督 多隣川 撮影所が 陸車省優協 新作への抱負

3 頭物シー動物となり組 大麻 花 嫁 と 鍬

饗は何人にも喜ばられるところである 朝鮮年

早急最寄り書店及本社各地支局販賞店で 御求めを乞ふ用紙節約の為部數を限定せるため 養賣當日賣切の風あり 京城府太平通一丁目 定價 臺圖貳拾錢(吳科二十1種) 京城日報社

別冊附錄「朝鮮人名錄」四六版一千餘頁

れた大作である「語細型の限」 **勝澤山にと「脚答を慰難に 入れで急遽回になつてゐる。 とにかく** 

的役在の田中軍事監督の下に敵部來の大メロドラマであり、第一級 張優の原動員はもとより大船から<br />
一常然権太が何故に要地であるか、 せるが、あくはそれよりも強いてゐる酷が目立つ、一寸米爾の

に深い悟りがあつたのである。 れた修養家盤ではない。読ずると

總力聯盟募集一等入選翼替小說 夢は畳めるもの

と減月を増みなく使ったものだ

ざは様太難、抵抗省の肝肌り

時しか記す者が名前を退屈にまぎれて側のベン持ては記 間 活動を含む心地するかる

一石 真糖

軍事便いと知ざが今看き四大き、武村幾久惠



りをつけ、戦部は激く一

して是非御備置きを乞ふ、特に別冊四鉤『朝鮮人名録』の重産業、經濟、文化など遺憾なく收録、時局下萬人必携の書と主義における唯一最高百科全書と云ふべき『朝鮮年鑑』昭和年島における唯一最高百科全書と云ふべき『朝鮮年鑑』昭和年島における唯一最高百科全書と云ふべき『朝鮮年鑑』昭和 床候兵を遊ぐ大作たらし 日本ニュース(七一號) 街の太陽回動

としての慣態はありません、 と溜けとを分けるための

命理調 て個水に設してから共に最否引 調が機能が動き果物サラダ

松茸と小無の酢の物 膜りお動で一寸のばし、壁で味を又は日砂粉を香はしく炒ってよく つと眺をふつてもみ、集は茹でょ いておき、小熊はせん切りとしさ 歌らし、この大戦と永相の感光 るなつーならし、この大戦と永相の感光 るなつーなりとは繋がに天魔鬼神の勇が 3水相の よで影響した。

は奶みに、乗は色彩り、極度に、混適温に切つておきます、無と必算 同量に合せたものをふりかけて順せ合せ、柚子の擇作と醫刑、酢を

そとの一層とそ、測を続てた歌

取扱店 京城本町二丁目日韓書房 京城明治町大阪屋號書店

卸部、京城日報各地支局及贩賣店

あらから難まれたんだから大丈夫 | は大敷製ってこゝで話をしたこと も受取って御輸送になった。 よ」電灯が高いて、外が薄暗くな ら結局お前の様に広込みをする者 で質粒の謎長に眺まつてるんだか 能も窓びはせんちやないか。佛心 店の将來を思へばこそ、道師から のない主人に何もそんなことをし れば社るのだから、少年を占の常 てやったからと喜んでくれる心が そんなことに一生無命やつても 想して 來て みると――とはそもし締めき合つてゐるであらうと像

はてなる」

やつばり配置人よりがには見込み

いや、蛙の子は蛙でな、僕は

「何をいる。他の話なら知らん

育なんか符合せはないだらう。 に働いてくれる裏面目な唇年に教

安州河本洋一

朝鮮風物·生活·事變詠 (幸瀬自田) 毎月廿日帰四 ▲宮少

付さんの確な見た

はしろんとするめた。

「だがね、をおさん。僕の事情が 私が入ってあるので、を言さ

ら十三ヶ年辛旭して止める時に、

その歴出さんが、十五の年か

べながら否へた。

をはさんはお機の上に発覚を断

機には店の利益や、

そんなに不思慮がらんでもいっ

ころから一人世話してくれと極ま、 コミが感いな、窓川さんといふ交響はな、お前には持つて来いのとしないから動目と

元 山 久保 辰馨

火の和み胸に優えぬ

所行さの難だった。

細い腿がよけに細い。

時村さんが、世界を追いてから私

うん、あそこならえると思ふが

に来よった。なアおい も、お前のぞうにうちへよく遊び ね。前に国ったが田さんといって が、あの店は一生居つても舞式も

を任さんも知つてあるらしかつ

「またあんなことを目さ

看物と着番へお捲の前に出った

複雑せんか」

いい日かよ。今のうちにどこかへ

「田代、藤寶人も配給になった

れとるんだ」

げやらの構理事かに船出待つ漁

効|腹膜炎・尿道炎

\*西瓜

佐藤ライトの

説、最高などみなががみをして、 に学まれて「その中に献した、いみ究前の語に、新権、戦 型際付など、ことどとくと、 ことでとく に学まれて、こその中に健衆を見せ 馬も原もみな福口を搬して酒の街 丞相の御命令だ。待てつ。漁ま いはうに眺える。諸将 と押し流れて水

濃厚肝油ビオスボンは 液体 をお選びになること

ピオスポン断面回 カルシウム 精 報 株

を完全に講師してビタミに設確され、然も空氣、

四條單位 4月000萬位 一粒のピタミン含有量

THE REAL PROPERTY.

肝油製剤の効力はビタミン含有量如何にあ のですから 必ずピオスポンの

ピタミンを長期安定保存し得る確實なものれが有りますから ―― 製剤の構造が、ピオれが有りますから ―― 製剤の構造が、ピオれが有りますから ―― 製剤の構造が、ピオ ピタミンの性質は非常に微妙で、空氣光線 れが有りますから 觸れゝば破壊され易く、効力が皆無となる ある正確なものをお選びになること くビタミンの含有量が國際單位で明記し て如

○○□位力 IO○原位合行の強力が表示を完全には関すられ、然も空気、光線には弾きれ、然も空気、光線には弾きれ、然も空気、光線には弾きれ、然も空気、光線に対するに、然も空気、光線に対するに、然も空気、光線に対するという。 標等の榮養網で糖衣し





福名病院

りむトンボ

求め使用してから一ヶ月、腹痛も去り白帝トも今では

たが或る時ワセトン球と云子識を見付け早速間により同 くなり、組分もすつかり殴くなりました。いと共にりセ

2 上地とて去年の末頃より日

肝油製剤は正確





の 新聞 強節――などの戦々歌 話を立て、後へ退がつた。 の 別に、李典、原侯や、紫麒、湿 は流れをなしたか、たじくと、 の は流れをなしたか、たじくと、 へ。 &は歌いで敬に掛け、 陽足を いはす、動きもせすくわっと、 窓みつけてゐた。 い紀野が病裏の食めに出來な 結婚は女性が真の苦暑へ同

かつたり、又は幸ひに結婚し

前の夕方、ちよつと資物に旧たと、遊びない、新しい靴ならいよのにし

| 一人の歌ではない。独興、曹に、

|侵収値の解まで、独当を辿びか| と、獲市は互びに関えしあったとしろ、際の施術といて、あはでよっとその異様を吸み、表着が、たと、質の原物に逆行っ| 聞くて 極 級 へかとりうとしたと 味方の勢ひ

「知れたもの。いかに張飛であら

加へ、存分な収集を構成すべく、

ここに全軍の力脈が集中されたも

ても途中病氣の爲に新始生活 に敬物が生しては此の上もな

から強い中に手常をしなけれ この様に婦人疾患は若い女

結婚間もなくこの惱みが

間でしていませる私国昨年が成しまして、なっか 

新潟縣西浦原郡竹根町田口塚

ませるとの郷の米飯畦飯の進方とも奏述で見れて都も要全に極端の手方が出来る郷土に都職職の手方が出来る郷土に都職職の手方が出来る郷の使用で続うと認識の別様田がありますから東京ないの選択で、一般の選び作用で白星と極みを止め、V・ヘの離さずしい細胞がありませんのでは、一般でありませんのでは、一般でありますが、一般でありません。

美容が整へて一生を他み傾け 腰やはが減み、月ばが不認に なるのが特です。画にこれ



个"

